



山武土木事務所
中村 陽介

Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

土木事務所内の危機管理体制を整え、台風や地震等の災害が発生した際に速やかに行動できるような仕組づくりの仕事をしています。我々が管理している道路、河川、海岸等の公共土木施設は県民生活に深く関わりものです。災害は必ず起こってしまいますが、その被害を最小限に抑えるため日頃から準備をしています。

これまで私は、道路の改良工事や維持管理業務に携わりました。人々の生活のそばで地域に密着した仕事ができるのも土木の魅力です。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

純粹に自分の出身地に貢献したいという思いがきっかけでしたが、千葉県は北西部には都市が広がり、南部には山と多くの自然があり、また三方を海に囲まれているため土木技術者として様々な仕事が経験できるとも考えました。

入庁して14年経ちますが今も千葉県庁に入って良かったと思っています。

Q 3 「土木職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

入庁後、先輩から「土木職としての専門知識と、行政機関で働く者としての法律知識を併せ持つように」とアドバイスを受けました。それを今も心がけています。

また、仕事では地域住民、建設会社、設計コンサルタント、市町村役場、警察等多くの関係者と意見調整を図りながら進めていくため、日頃より良好な関係を築いておくことが大切だと感じています。そして、自身はどんなことでも積極的に取り組み、興味を持ち、主体的に臨むことを心がけています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

本県の道路ネットワークは量的にも質的にもいまだ不十分な状況です。必要な道路を整備し、都市部や観光地の渋滞解消や、安全性の高い歩行空間を提供し、千葉県の魅力向上に貢献したいです。

土木職は、道路、河川、海岸、急傾斜、港湾、都市計画、公園、下水道だけでなく県庁各部・各課に様々に配置されそこで土木としての仕事を求められます。どんな環境にも馴染み、最高の力を発揮できる職員でありたいと考えています。

Q 5 受験生へ一言

計画立案・調査設計・施工・維持管理の一連の流れに関わることはとても楽しくやりがいがあります。一緒に新しい千葉県を創りましょう。

異動経歴

H18年採用 長生地域整備センター
H21年 葛南地域整備センター
H24年 県土整備部都市整備局都市計画課
H27年 総合企画部水政課
H30年 山武土木事務所

